

第2期 本別町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)についての意見募集結果

本別町における、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)について、町民の皆様等からご意見を募集したところ、2人から、延べ13件のご意見が寄せられました。
ご意見の要旨及びご意見に対する町の考え方については、次のとおりです。

【ご意見に対する町の考え方の区分】

| | |
|---|-------------------------------|
| A | 意見を受けて案を修正したもの |
| B | 案と意見の趣旨が同様と考えられるもの |
| C | 案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの |
| D | 案に取り入れなかったもの |
| E | 案の内容についての質問等 |

| 番号 | ご意見の内容 | ご意見 反映 区分 | ご意見への対応 |
|----|---|-----------------|---|
| 1 | 本別高校の存続は喫緊の課題であると思います。前回の戦略案の中には教育環境の充実という項目があったのですが今回の案の中にはありませんので入れてほしい。高校の存続なくして町の存続なしと言えるほど重要な問題であると認識してほしい。いままでも検討、対策されてきていることは承知していますがまだまだ十分とは思えません。 | D | 教育の大切さ・環境の充実などの重要性は理解しておりますが、第2期戦略においては、「第2章 策定の基本的な考え方」にもあるように、本町が抱える課題に対応し、人口減少抑制に直接的効果が高いと考えられる施策を中心に焦点化した施策体系としており、教育分野については戦略上は外しているところです。 また、ご意見のとおり、高校の存続は町づくりにおいて重要な課題と捉えており、町総合計画推進における課題として、まちづくり全般にかかる取り組みの中において進めて参りたいと考えています。 |
| 2 | 内閣地方創生推進事務局のページに本別役場推薦のスーパーシティ構想が公募に挙がっていますが、どんな内容なのでしょう。スーパーシティ構想はコンパクトシティ、スマートシティとともによく話題になるのですが、JSDハイセルの出された構想は本別役場推薦となっていますので、本戦略案に盛り込まないのはなぜでしょうか。 | D E | 民間事業者が提案された内容は、土壌改良等を通じた十勝全体の農業基盤をより強固なものとしていく内容であり、広い意味では地方創生と繋がりますが、内容的には農業振興分野にかかる構想と理解しております。第2期戦略においては、「第2章 策定の基本的な考え方」にもあるように、本町が抱える課題に対応し、人口減少抑制に直接的効果につながる施策を中心に焦点化した施策体系としていることから、農業振興施策としては、今回の総合戦略上から外しているところです。 |
| 3 | (農業大学の活用) 農大は農業講習所から出発して北海道立の農業技術を高めてきた農業従事者にとって貴重な学びの場であり実習の場でもあります。この学校と本別町が連携して、新しい農業技術、また生産品を生み出すならば北海道にとっても大変な成果となり、知名度も上がり大学から大学への格上げの足掛かりになるかもしれません。もしそのようになれば人口問題も文化も教育も飛躍的に発展することでしょう。 | C | 農業大学校との関わりについては、「本別町担い手受入れ協議会」の取組推進において、農業人材の確保や人材育成の取組等を通じて連携していくこととしています。 |
| 4 | (先端技術に協力する町) 社会変化をいち早く取り入れて町の活性化を図る。 ※例えばカーボンニュートラル社会へのどのような分野で協力できるのか。 無人運転車、空飛ぶタクシーの実験地としての協力。 | D | 現時点における戦略上の直接的な施策推進項目としては現実的ではないと捉えており、ご提言については、今後のまちづくりにおける議論の参考とさせていただきます。 |
| 5 | (河岸段丘の眺められる町) 本別町が誇れるものの一番は素晴らしい景観であると思います。カムイ山の展望台からは遠くの日高山脈、東大雪山の山並み、そして河岸段丘の畑が広がる景色は素晴らしい。このことをもっと広く知ってもらい観光体験してもらいたいものです。 | B | 施策2-1の推進において、本別公園の魅力創出と発信の取組の内容の中で検討して参ります。 |
| 6 | (中央公民館の建て替え) 現在の利用状況から考えると今の建物で良いかもしれませんが、音楽の聴けるコンサートホールが町にないのは寂しい限り。中央公民館の建て替え時期にはコンサートホールを備えた施設にしてもらいたい。 | D | 戦略上の直接的な施策推進分野はありませんが、ご提言については、今後のまちづくりにおける議論の参考とさせていただきます。 |
| 7 | (策定の趣旨) 人口減のための歯止めの計画ではいけない。残住、移住の魅力作りが必要。 | C | 将来の国内人口の減少に伴い、本町の人口減少が進む中においても年代構成のバランスの改善を図りつつ将来への持続的なまちづくりを進めていくことが必要と考えています。本戦略以外の個別分野における課題への対応と併せ、本町の魅力度を高めていくことが人口減少の抑制にも繋がると考えています。 |

| 番号 | ご意見の内容 | ご意見 反映 区分 | ご意見への対応 |
|----|---|-----------------|---|
| 8 | (計画期間) 短い。10年間として1年、3年、5年の検証・反省などをしなければいけない。すべての事業に終わりはない。トップの入れ替りによって優先順位が変わったり、変更があるだけ。 | C | まち・ひと・しごと創生法により、国や北海道の5か年の総合戦略を鑑みながら、市町村の戦略を策定することとなり、推進状況については、住民代表、自治会、産業界、学校、金融機関、労働団体などで構成する「まち・ひと・しごと創生推進委員会」において、毎年、数値目標や重要業績評価指標(KPI)の達成状況を踏まえ、施策等の効果を検証しながら進めて参ります。ご意見のとおり、人口減対策に終わりはないと考えておりますので、評価・検証等を行いながら持続的に対策を行うことが必要と考えております。 |
| 9 | (施策1-1) 障がい者問題が欠けている。障がい者も担い手であることを忘れてはならない。 | C | 障がい者への対応については、本戦略への位置づけはしておらず、障がい者に対する個別計画上の推進を基本に取り組んで参ります。 |
| 10 | (施策2-1) 静山研修センター跡の活用を考えること。 | C | 遊休施設等の活用については町全体の課題でもあり、本町への入込の拠点となっている公園内エリアの一部分としても、広く協議・検討を進めて参りたいと考えています。 |
| 11 | (施策3-1) 農業後継者だけでなく、個人事業者の後継者問題も必要。 | C | 若者のニーズも捉えながら、商工会とも連携し、行政として必要なサポートを進めて参りたいと考えています。 |
| 12 | (施策4-1) 大型・中型車でなくUD(ユニバーサルデザイン)カーやコミュニティカーが必要である。 | C | 人口減少や利用者ニーズの変化等により、地域内の交通体系維持も柔軟に対応していく必要があると認識しており、利用客体に見合った車両選定に努めていく必要があると考えております。 |
| 13 | (施策4-2) 防災訓練は避難所(場所)の問題と経路、受け入れの問題も考えるべき。ハザードマップの見直しが必要。 | C | 全町的な防災対策の推進にあたっては、町民等が災害に対して迅速な対応ができるよう地域防災計画に基づく災害対応を基本に防災体制の強化や防災意識の高揚を図る取り組みを進めて参ります。 |